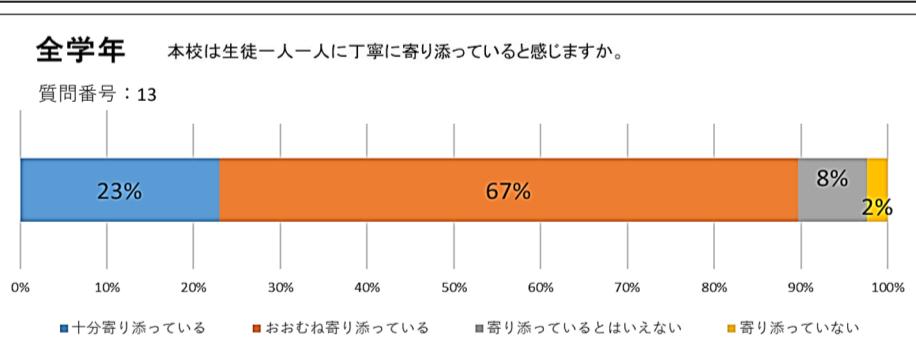
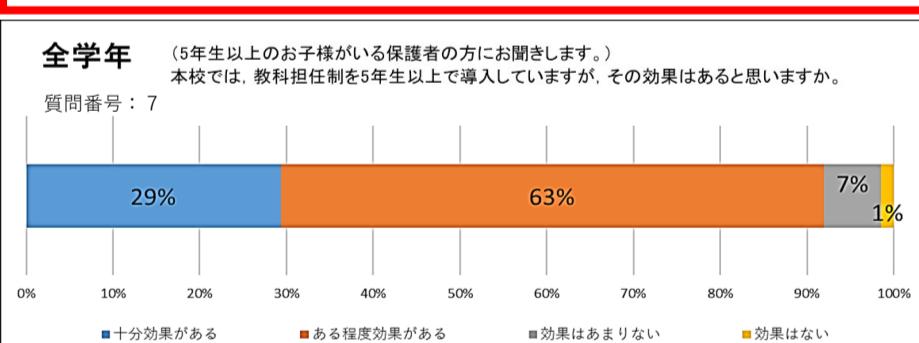
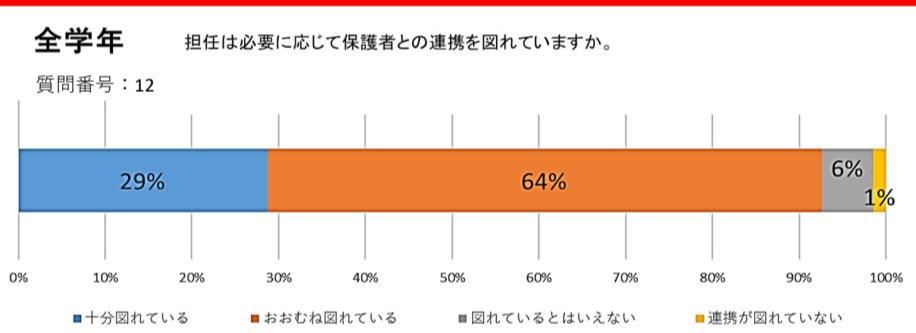
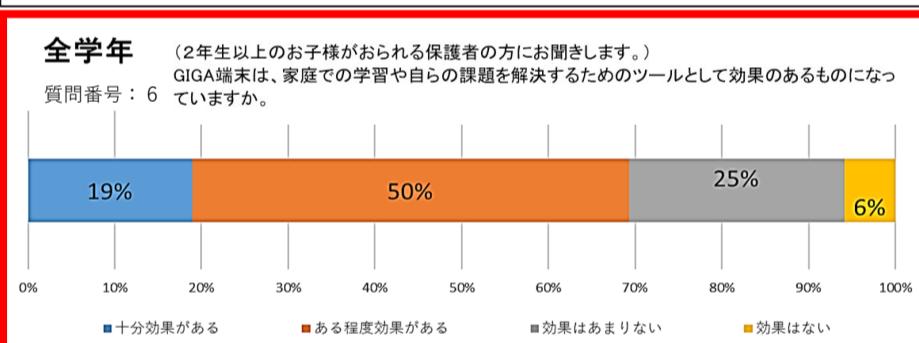
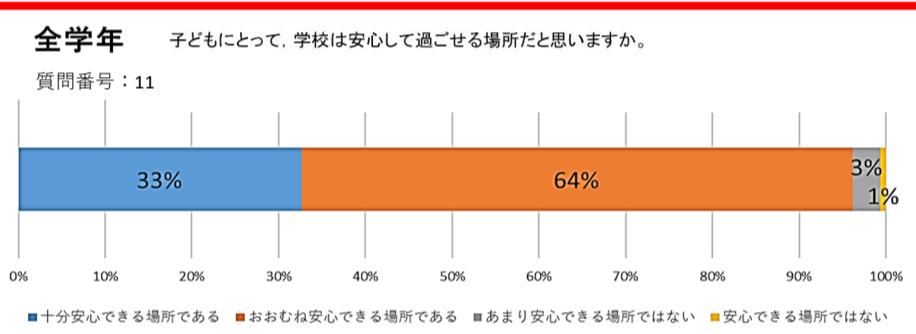
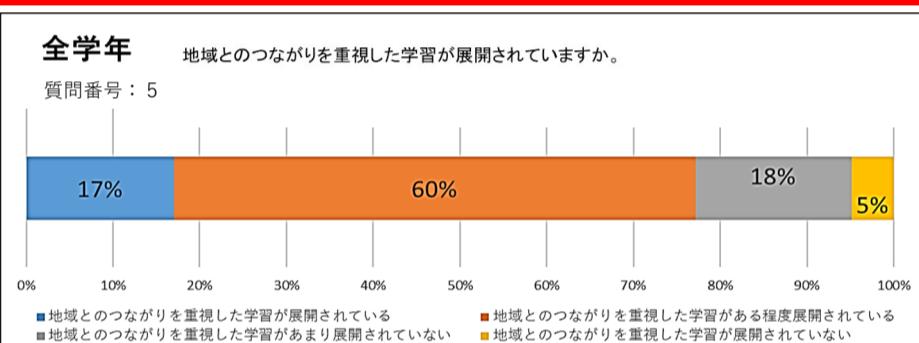
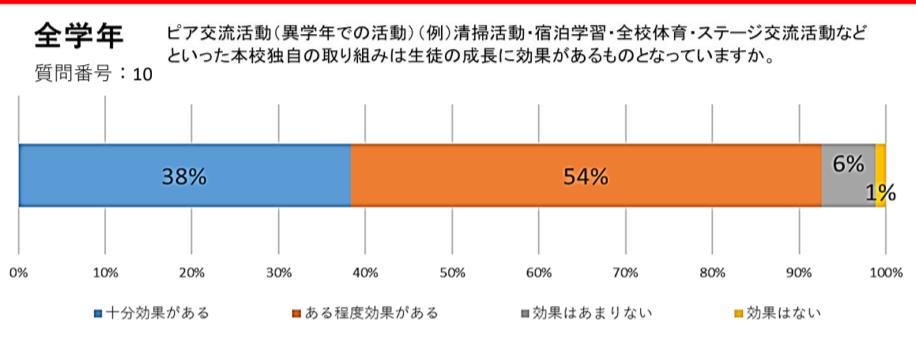
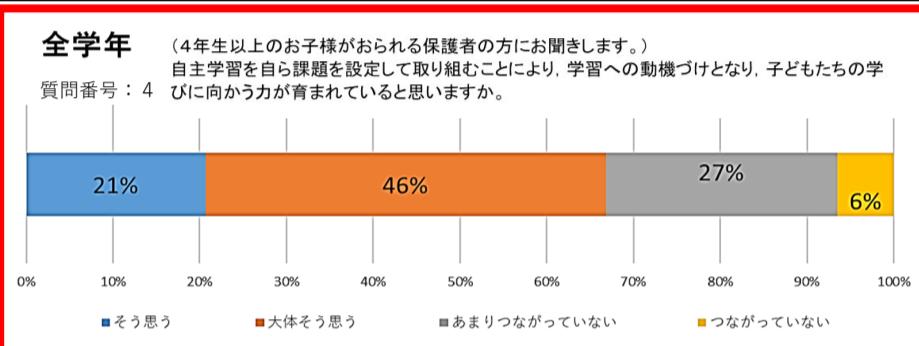
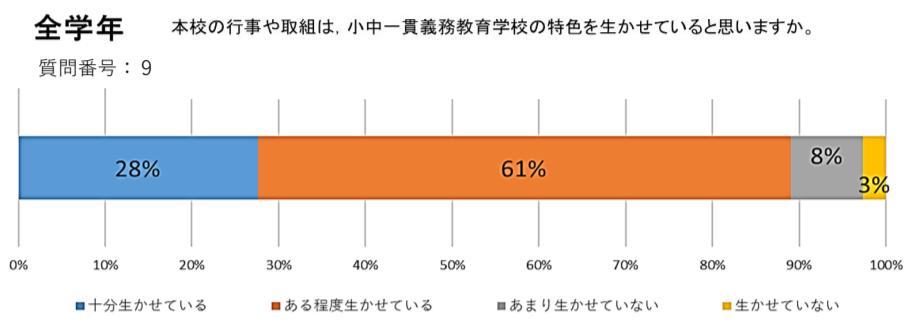
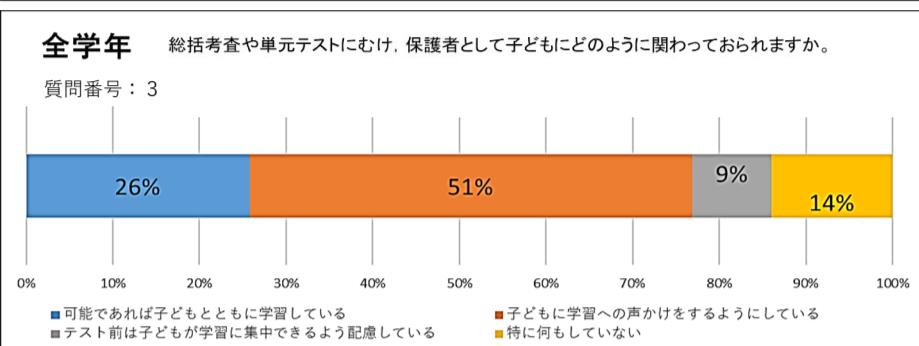
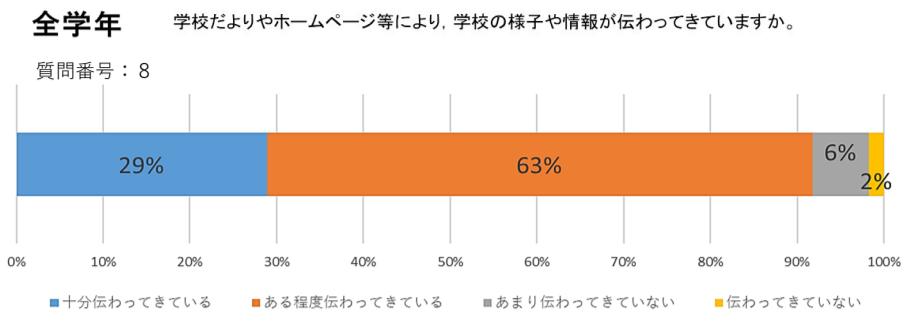
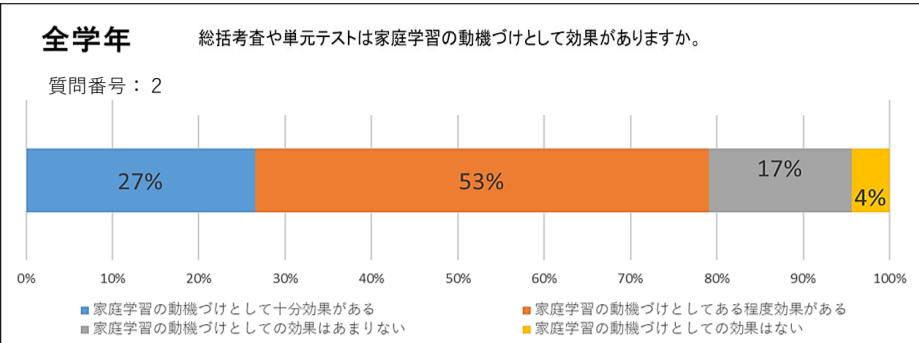


<保護者アンケート結果>



<保護者アンケート結果より>

令和4年度前期学校評価アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。今年度もMicrosoft Formsを使ったアンケートを実施し、たくさんの回答をいただきました。アンケートでは昨年度と同様、本校の特色ある取組や学校と地域・家庭のつながりに着目して項目を精選し、お尋ねしました。どの質問の結果を見ましても、多くの方が選択肢の1・2番（十分～、おおむね～）を選ばれ、本校の取組にご理解をいただけておりますこと、とてもありがとうございます。

質問番号10の「ピア交流活動」に関する質問では、「生徒の成長に効果がある」とお答えいただきました。今年度はコロナ対策を万全にしながら、これまであまりできなかったピア活動を積極的に進めてまいりました。6月に行ったピア交流活動（体育）では、学級閉鎖だった1クラスを除き、全校生徒が色ごとに分かれ学年競技や演技、ステージごとの競技を行ったり、がんばっている生徒をみんなで応援したりと小中一貫義務教育学校ならではの取組ができました。今後も社会情勢を考えながら、生徒が生き生きと活躍できる異学年での交流活動を行っていきます。

また、質問番号11の「子どもにとって、学校は安心して過ごせる場所だと思いますか。」では、97%の方が「安心できる場所である」と回答していただきました。この結果に甘んじることのないよう、全教職員が生徒一人ひとりにしっかりと寄り添った教育活動を行っていきます。

今年度から新たに増やした項目の質問番号4では、「自主学習」についてお答えいただきました。「家庭において、自ら興味をもったことに対して課題を設定し学習を進めることができます」との質問に、自らの学びにつながることをねらいとし、学校全体で取り組んでいます。チームステージやビジョンステージでは、教室や廊下に自主学習を掲示することで互いに刺激を受け、充実した自主学習を提出する生徒が増えてきました。保護者の皆様には、お家で自主学習に取り組もうとしているお子たちに励ましの声をかけていただけるとありがたいです。

質問番号6では「GIGA端末の持ち帰りの効果」についてお尋ねしました。今年度は5月から2年生以上がGIGA端末を持ち帰り、家庭での学習や課題を解決するためのツールとして使おうと促していますが、まだまだ保護者の皆様からはその効果が見いだせないという多くの回答をいただきました。低学年の生徒にとっては、端末自体の重さが負担となったり、実際に家庭で使用する頻度が少なかったりするなど、改善すべき点が多くあります。しかしながら学校では、GIGA端末を文房具のように学習に不可欠なツールとして場面に応じて活用している生徒がいることも確かです。また、授業において調べ学習に使うだけでなく、学習支援ソフト（ロイロノートなど）を使って考え方を整理したり、課題を提出せたりすることもあります。また、学級閉鎖時や登校できない事情がある時にはオンラインで双方向のやり取りを行うなど学びを止めない状況を作っていました。今回のアンケート結果を真摯に受け止め、より一層GIGA端末の効果的な使用法を模索し、生徒自らが使い方を選択し活用していくように取り組んでいきたいと思います。

12月には、後期学校評価アンケートの実施を予定していますので、ご協力よろしくお願ひいたします。

R4 前期学校評価アンケート一覧(生徒)

※アンケートの考察は下記をご覧ください。

1. 「確かな学力」の育成について

	実現度(ベーシックステージ)				実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来していない	出来ていない
1 授業では、その単元で学ぶことが自分たちの生活とどのようにつながっているのか意識して学習を進めている。	65%	28%	6%	1%	30%	57%	12%	1%	19%	59%	19%	3%
2 授業中に、自分の考えをもつことができている。(思考力)	58%	35%	4%	2%	45%	47%	7%	1%	32%	59%	7%	2%
3 授業中に、友だちの意見と自分の意見を比べることができている。(思考力)	57%	29%	12%	2%	30%	48%	20%	2%	26%	57%	14%	3%
4 授業中に、自分の考えを説明している。(発信力)	51%	26%	17%	6%	27%	33%	32%	7%	15%	40%	38%	8%
5 授業中に、目的や場面にあわせて自分の考えが伝わるように説明している。(発信力)	48%	35%	13%	4%	24%	45%	25%	5%	15%	53%	26%	6%
6 授業中に、自分の考えを友だちと伝え合っている。(コミュニケーション力)	64%	27%	8%	1%	43%	48%	7%	1%	37%	51%	11%	2%
7 授業中に、友だちといっしょに問題を解決している。(コミュニケーション力)	60%	29%	7%	4%	48%	40%	10%	2%	39%	50%	8%	2%
8 失敗をおそれずにたくさんのことについチャレンジしている。(折れない力)	63%	28%	7%	1%	31%	45%	18%	6%	15%	52%	28%	6%
9 だれにでも思いやりの心をもって過ごしている。(多様性を受容する力)	65%	29%	5%	1%	45%	48%	6%	1%	39%	52%	8%	0%
10 自分をふりかえてよりよくしようとしている。(自律的活動力)	59%	30%	8%	3%	38%	43%	17%	3%	24%	57%	17%	2%
11 総括考査や単元テストにむけて、家庭学習を進めるようにしている。	53%	26%	14%	8%	37%	43%	15%	5%	30%	46%	19%	5%
12 学校や家で、学習の支援としてGIGA端末を使うことができている。	56%	24%	10%	10%	43%	37%	15%	5%	21%	45%	26%	8%
13 蓮花タイムなどで、地域とのつながりを大切にした学習を進められている。	64%	23%	7%	7%	46%	48%	4%	2%	26%	60%	12%	2%
14 5年生以上の教科担任制は、各教科を深く学ぶ機会となっている。					69%	30%	0%	1%	49%	46%	4%	1%
15 英語の授業では、場面に応じた内容を自分で考えて話している。					41%	48%	11%	1%	21%	53%	21%	4%

2. 「豊かな心」の育成について

	実現度(ベーシックステージ)				実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来していない	出来っていない
16 楽しく学校生活を送っている。	81%	12%	6%	1%	74%	22%	4%	0%	55%	39%	4%	2%
17 友だちと協力することを大切にしている。	78%	18%	3%	1%	75%	22%	2%	1%	60%	37%	3%	1%
18 学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。	71%	23%	6%	0%	60%	36%	4%	0%	46%	45%	8%	1%
19 他の学年の人とのつながりを大切にしている。(ビア交流活動など)	77%	20%	2%	1%	61%	33%	5%	1%	40%	49%	10%	1%
20 自分以外の人を大切にし、それぞれの個性を認めるようしている。	72%	21%	5%	2%	60%	36%	2%	1%	57%	40%	3%	1%
21 「こころ科」ではテーマに対して自分の考えをもち、友だちと交流することができている。	67%	24%	8%	1%	60%	35%	5%	0%	43%	50%	6%	1%

3. 「健やかな体」の育成について

	実現度(ベーシックステージ)				実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来していない	出来ていない
22 学年に応じた寝る時間を心掛けている。 (BS:午後9時 TS:午後10時 VS:午後11時)	46%	24%	14%	16%	33%	22%	25%	20%	19%	12%	29%	39%
23 学校に行く日は、朝7時までに起きている。	70%	18%	7%	5%	64%	18%	12%	7%	37%	20%	19%	25%
24 毎日必ず、朝ご飯を食べている。	85%	10%	3%	2%	72%	13%	9%	6%	62%	21%	10%	7%
25 家や学校で意識して体を動かしたり、運動をしたりしている。	69%	17%	9%	5%	47%	32%	16%	5%	49%	28%	16%	7%
26 家や学校での食事において、自分の体の成長に必要な栄養や分量を取ることができている。	67%	23%	8%	2%	48%	38%	12%	2%	38%	51%	9%	3%

4. 家庭・学校・地域との連携について

	実現度(ベーシックステージ)				実現度(チームステージ)				実現度(ビジョンステージ)			
	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来ていない	出来ていない	よく出来ている	大体出来ている	あまり出来していない	出来ていない
27 学校から配られるプリントをおうちの人見せている。	73%	17%	7%	2%	53%	35%	9%	3%	40%	33%	19%	8%
28 地域の方や、見守り隊の方に、元気よくあいさつしている。	68%	24%	6%	3%	42%	39%	17%	3%	29%	45%	16%	10%
29 学校の先生は、自分の話を聞いてくれる。	81%	17%	2%	1%	71%	27%	2%	0%	45%	51%	3%	2%
30 どんな大人になりたいかを、家人と話している。	54%	22%	11%	13%	37%	29%	23%	11%	28%	31%	26%	15%

1.「確かな学力」の育成について

	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い
①授業中に、自分の考えを友だちと伝え合っている。（コミュニケーション力）	64%	27%	8%	1%	43%	48%	7%	1%	37%	51%	11%	2%
②授業中に、友だちといっしょに問題を解決している。（コミュニケーション力）	60%	29%	7%	4%	48%	40%	10%	2%	39%	50%	8%	2%
③授業中に、自分の考えを説明している。（発信力）	51%	26%	17%	6%	27%	33%	32%	7%	15%	40%	38%	8%
④授業中に、目的や場面にあわせて自分の考えが伝わるように説明している。（発信力）	48%	35%	13%	4%	24%	45%	25%	5%	15%	53%	26%	6%

「授業中に自分の考えを友だちと伝えあっている」や「授業中に友だちといっしょに問題を解決している」という質問（①～②）について、9割程度の生徒が肯定的な回答を行っていることがわかります。また、昨年度課題としていた発信力の質問（③～④）においても、同時に向上が見られました。今年度本校が研究を推し進めている「主体的な学びの実現」に向けた手段として取り入れている反転学習の成果の一つだと捉えています。これまでのように教室で説明を聞き、自宅で基本的な学習に取り組むことを「反転」させることで、授業では説明型の講義ではなく、知識の定着や応用力の育成に必要な学習を行う授業形態です。また本校は、その知識の定着や応用力の育成には、対話的な学習が必要だと捉えています。今年度授業者が意図的に、協働的に取り組む課題や、課題解決の時間を設定しています。そういう学びから、生徒は相手に自身の考えを伝えながら問題解決しているという実感につなげていると考えられます。

	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 していない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 していない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 していない	出来ていな い
⑤総括考查や単元テストにむけて、家庭学習を進めるようにしている。	53%	26%	14%	8%	37%	43%	15%	5%	30%	46%	19%	5%

しかし一方で、家庭学習に関する質問（⑤）においては、本校が目指す「主体的な学びの実現」を考えると、まだまだ改善の余地があることがわかります。また、学校評価アンケートの項目にはありませんが、本校が今年度家庭学習の取組を推し進めるための手段の一つ＊「スクールプランニングノートブック・おたより」や「自学シート・ノート」から多くの課題が見えてきました。家庭学習量・時間ももちろんのことですが、そのこと以上に「生徒の主体的な学び」は、自身で課題を選び、判断し、考え、決定できる学習課題、学習内容でこそ成立するものだと考えると、生徒は『与えられた課題に取り組む』という受動的な家庭学習スタイルからの脱却が必要だと感じています。そのために、我々授業者は、日々の授業形態と家庭での学習形態とのつながりを改めて見直すことで、生徒が受ける学校での授業内容と、生徒が取り組む家庭での学習内容の一体化を目指していきたいと考えています。これは、今年度本校において研究を進めている反転学習を取り入れた授業形態とも関連していると言えます。この家庭学習への働きかけが、授業での生徒同士の学び合い、高め合い、励まし合い、認め合う学習活動とつながり、ひいてはその活動が「主体的な学びの実現」につながるものだと考えています。

* School Planning Notebook（スクールプランニングノートブック）・おたより

目的…生徒が自らの学習過程を客観的に捉え、学習を改善するための振り返りを行いながら学習を自己調整する力（自ら学ぶ力）を目指した取組。

*自学シート・自学ノート *全学年で実施

目的…●「計画→振り返り→実践」を繰り返し、生徒自らが学習過程を客観的に捉え、自らの問い合わせを解決するために粘り強く取り組む力、学習改善のための自己調整する力を育成する。

●単元構想の中に反転学習を効果的に位置付けて家庭学習の在り方を見直し、個別最適な学び・協働的な学びの往還、主体的・対話的で深い学びの実現を目指す。

2.「豊かな心」の育成について

	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い
(R3年度) 学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。	65%	27%	8%	1%	54%	37%	8%	1%	33%	49%	12%	5%
⑥ (R4年度) 学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色を生かせていると思う。	71%	23%	6%	0%	60%	36%	4%	0%	46%	45%	8%	1%
(R3年度) 他の学年の人とのつながりを大切にしている。（ピア交流活動など）	69%	26%	4%	1%	54%	37%	8%	1%	33%	49%	12%	5%
⑦ (R4年度) 他の学年の人とのつながりを大切にしている。（ピア交流活動など）	77%	20%	2%	1%	61%	33%	5%	1%	40%	49%	10%	1%

「学校の行事や取組は、小中一貫義務教育学校の特色をいかせていると思う。」や「他の学年の人とのつながりを大切にしている。（ピア交流活動など）」という質問（⑥～⑦）の項目では、昨年度と比較すると、全ステージで上昇がみられました。これは、各ステージだけでなく、学年・ステージを越えた異学年交流（ピア活動）に取り組む機会が増えたことが挙げられます。しかし、それだけでなく学年が上がるにつれて、その数値が大きく上昇していくのを見ると、上級生のやりがいにつながる取組となっていることが何よりの要因だと考えています。異学年交流（ピア活動）をする下級生の声を聞くと、上級生への「あこがれ」を強く感じます。上級生もその「あこがれ」を「やりがい」につなげ、生徒主体の取組としている言動が見られます。この「つながり」から生まれるサイクルが上級生の自己有用感を高めることにつながり、結果として様々な教育活動に主体的に取り組む生徒の育成につながっています。それがひいては、本校の掲げる「他とつながる力」の育成の一助になると今回の結果から捉えています。今後もさまざまな活動を異学年で行なうことが計画されていますので、少しでも子どもたちにとってより良い活動となるように取り組んでいきます。

3.「健やかな体」の育成について

	実現度（ベーシックステージ）				実現度（チームステージ）				実現度（ビジョンステージ）			
	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 ていない	出来ていな い	よく出来て いる	大体出来て いる	あまり出来 していない	出来ていな い
(R3年度) 学年に応じた寝る時間を心掛けている。 (BS：午後9時 TS：午後10時 VS：午後11時)	43%	29%	16%	12%	30%	21%	28%	21%	18%	23%	27%	31%
⑧ (R4年度) 学年に応じた寝る時間を心掛けている。 (BS：午後9時 TS：午後10時 VS：午後11時)	46%	24%	14%	16%	33%	22%	25%	20%	19%	12%	29%	39%
(R3年度) 学校に行く日は、朝7時までに起きている。	72%	16%	9%	4%	57%	21%	13%	8%	34%	27%	15%	24%
⑨ (R4年度) 学校に行く日は、朝7時までに起きている。	70%	18%	7%	5%	64%	18%	12%	7%	37%	20%	19%	25%

就寝に関する項目（⑧～⑨）では、昨年の集計結果と比較すると「よく出来ている」という回答の数値がわずかではあるものの、全ステージにおいて上がっていました。起床についても同様に「よく出来ている」という回答の数値が上がってきました。ご家庭での日ごろのお声かけ等、ご協力をいただきありがとうございます。今後もすいみん学習や生活調べを継続して行なっていきます。

また、運動に関する項目では、コロナの影響で外出できなかった時との比較という側面も考えられますが、「よく出来ている」という数値はどのステージでも上がっている一方で、体力テストの結果では下がっている項目があります。今年度、本校は、休み時間に体育館を使用し、「ボール遊び」を通して運動に親しむ取組を実践しています。また、各フロアに「体力向上コーナー」を設置し、体育館のボール遊びだけでなく、日常多くを過ごすフロアで、積極的に体を動かしたくなるような取組を推し進めています。

4.家庭・学校・地域との連携について

どの質問の結果を見ましても、多くの生徒が選択肢の1、2番（よく～、だいたい～）を選び、本校の取組が少しずつではあるものの生徒の自己有用感へつながっているように感じます。また、数字として表れていない部分も、日々学校現場において、生徒の言動の変容として見られることもあり教職員一同喜び合う機会も多々あります。しかし、我々学校として手放しに喜ぶ結果ばかりではないことも事実としてあります。「確かな学力」の育成においては、「授業では、その単元で学ぶことが自分たちの生活とどのようにつながっているのか意識して学習を進めている。」という項目においては、約2割程度の生徒が「あまりできていない」「できていない」と回答していました。「豊かな心」の育成では、「楽しく学校生活を送っている」において、約1割相当の生徒が楽しさを感じられていない結果となりました。「健やかな体」においては、睡眠とスマートフォンの相関関係において、関係性が強くある中で、年々スマートフォンの保持年齢の低下に伴い、本来睡眠における課題も例年以上に低年齢化し、学校としても危惧している点が多々あります。

今年度、学校教育目標『「他につながる力」・「未来を拓く力」の育成』を掲げ、この目標達成を目指すことが、我々教職員一同の使命だと感じています。その使命感で、この前期アンケートの結果を受け止めると、教職員一同これまで以上に生徒のことを考える機会となりました。本校が教育の特色にあげる向島秀蓮を支える3つの柱（学びのつながり・育ちのつながり・人のつながり）を改めて見つめ、日々の教育活動の改善に向け、特色ある取組や、日々の授業、家庭での過ごし方に着目しました。例えば、「学びのつながり」においては、「生徒の主体性の育成」に向け、自身が課題を設定して取り組む家庭学習を推進していきたいと思っています。しかし、家庭での学習を進める上で、保護者の皆様の励ましの声かけは欠かせません。「育ちのつながり」「人のつながり」においては、コロナ禍における行事の制限が緩和されたこともあり、生徒はこれまで以上に学校行事を一生懸命取り組む姿や、楽しみにする言動が見られます。生徒異学年交流（ピア活動）での様子などから、家庭で子供たちに温かい声かけをしてもらえると、生徒の自己有用感や自己肯定感の育成につながります。また、それら3つの柱を支える健やかな体においても、学校と家庭が連携し、子どもの「生活習慣の確立」を進めさせていただけたらと思います。

最後に、今年度より、学校から配られるプリントの多くを電子配信させていただいております。それに伴い、PTAメールや学校HP等で保護者の皆様に直接確認してもらうことが増えました。ご協力ありがとうございます。今後も学校の様子や学年からお知らせしたいことなど、HPに掲載していくきますので、ご覧いただき、ご家庭でお声かけ等していただけるとありがたいです。